

## 魚野川 岩魚釣

日時

08年5月31日～6月1日

メンバー

田中(L)、菊地(写真)、橋立、  
斉藤、後藤(記)

交通の便も良く行程もそれほど長  
くなく岩魚が必ず釣れる沢と云うこと  
で、ここ数年田中さん計画の魚野川  
に今回初めて参加した。

初日の天候は雨模様、どうなるか  
と心配していたが、危ない場所も無く  
少々の雨でも決行とのことで一安心。  
今にも降り出しそうな金曜夜、斉藤さ  
ん、後藤は本厚木へ集合、菊地車で  
相模大野の橋立さん宅へ向かう。車  
を換え、田中さんの待つ橋本へ向か  
った。

ベテラン釣師、素人合わせて計5  
名 どれ程の釣果が期待できるか。

5月31日(曇りのち小雨)

関越道渋川を降り小雨の吾妻線・  
長野原草津駅に着いたのは1時を回  
っていた。駅の待合室は閉まり、雨を  
避けられるような適当な場所が無か  
ったので二駅先の羽根尾駅に向かっ

た。無人駅の羽根尾でホームに出る  
ガード下で、雨をしのぎ仮眠を取るこ  
ととなった。

7時過ぎの始発列車に乗る女子中  
学生二人は我々を警戒してか、ガー  
ド下に寄ってこない。このガード下で  
仮眠を取るような登山者はめったに  
いないのかも知れない。

車で1時間少し、白根開善学校奥  
の林道ゲートに到着。「開善」とは聞  
きなれない/見慣れない言葉、帰っ  
てからホームページを観ると、「人は  
みな善くなろうとしている」援助、助  
言、指導・・・でこの方向に導き開か  
せることか？不登校や中退者などの  
転入学・編入学も相談に応じ、全寮  
生活を通し自立を目指す、普通科の  
私立中学・高等学校とのこと。

雨の中カッパを着たり傘を差したり  
し馬止めまでの広い林道を歩き、登  
山口に到着。鷹巣ノ尾根に延びる登  
山道は幅も広く、樹木も生茂ってい  
ないので傘を差したままでも登ること  
が出来た。見晴らしのよい尾根道と思  
われたが、生憎の雨空 ガスがかか  
り残念ながら展望は全く利かなか  
った。

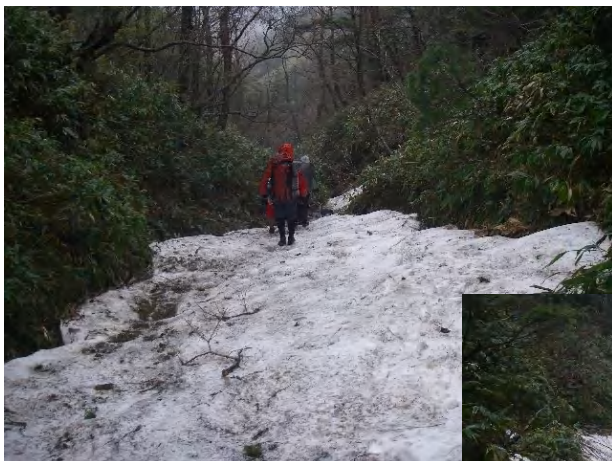
2時間ほどの登りでオッタテ峠、す  
ぐに小ゼン沢の下降となるので峠で  
身支度を整える。この頃になると雨



■ 雨の中 鷹巣ノ尾根の登り

は少し小降りになり始めた。小ゼン沢に入ると雪がいたる所に残り、昨年の同時期よりもかなりの残雪とのことで、今年の積雪の多さを改めて

実感した。魚野川の出合まで1時間ほどの行程とのことだったが、今年は残雪のため2時間近くの下りとなった。



■ 残雪の小ゼン沢下降



小ゼン沢と魚野川との出合には大きな滝が落ち込んでいるので、魚野川に直接降りられず、右側の小さな尾根を10mほど登り返し本流に出た。ここからテン場までは、200mほど下った対岸とのことで、このところの雨で増水した本流を渡渉しなければならぬ。

最初に菊地さんが渡り始めたが、流れが急だったせいか足場が悪かったせいか4、5秒ほど岩に両腕を回し体勢を整える場面となったが無事に渡りきった。これを観ていたメンバーこの場所からの渡渉は無理と考え、自分の技量に合った流れの緩い浅瀬を選び全員対岸に渡り終えた。

テン場に着いた頃には、雨はほとんど上がっていたが、また何時降り出すか分からない空模様、フライを張ることになった。テン場は開けた平坦な場所で8畳大のブルーシートに対し十分な広さもあり、雨でなければさぞ快適な場所と思われた。

焚火の流木集めも4時前には終わったので、いよいよ釣り開始。自分の食べる分は自分で釣りあげようとのことで、上流に田中さん、斉藤さん下流へ菊地さん、橋立さん、後藤と別れ、皆それぞれここぞと思うポイントへ向かった。

7、80mほど下ったが、流れは速く淵もなくポイントとなるような場所は少なかった。雨も降り始め寒くなってきたのでそれ以上下らず、適当な流れに糸を垂らし、餌のミミズと蜂の子を何度か付け替えてみたが当たりは全くなかった。2、30分もすると夕刻の気温低下と雨のためか竿を持つ指先が冷たくなり感覚がなくなってきた。季節はもう6月なのに！この1、2年間で血の巡りが悪くなってきたのか手足の指先の冷えがひどくなってきた。

明日の天候回復を期待し早々に切り上げ、焚火の準備に取り掛かった。湿った流木に苦戦していると、フライフィッシングの橋立さん、川面を飛び交う昆虫の少ないこの時期、釣果が芳しくなかったのか戻ってきた。二人で銀マットを交互に扇ぎ30分近くかけやっと火を熾すことが出来た。

6時頃までには田中さん、菊池さん、斉藤さんが戻ってきたが、菊池/橋立/後藤の三人坊主だったので一匹足りない。田中さん、斉藤さんはかなりの数を釣り上げたが1、2匹を残しあとはリリースしたとのこと。、斉藤さん夕暮れの中、再び出かけ直ぐに1匹釣り上げ戻ってきた。

これで夕食準備完了、メニューは

田中シェフ自慢のホワイトシチュウーと塩焼き一人一匹。岩魚は斉藤さん、橋立さんの二人で 田中さん持参の切れ味鋭い小出刃で丁寧に調理、これまた田中さん準備の40Cm もある竹串でじっくり焼き上げられていたので本当に美味しかった。

6月1日(曇り時々晴れ間)

今日のはめいめい朝食を取って釣。全員揃って昼食は済まし10時頃に出発の予定。

6時前に眼が覚め最初に起き出し、上を見上げると空は昨日より明るく雨の心配はなさそう。早速準備を済ましテン場の前の流れから糸を垂らす。この場所は昨日田中さんが糸を流していた場所なので岩魚はもう居ないのではないかと思っていたが直ぐに20Cm クラスを釣り上げることが出来た。さらに10分ほど粘って二匹目を釣り上げた。次に50mほど上流に小さな滝の落ち込みがあり、ここでは3匹 2匹は15Cm ほどだったのでリリース。4、50分で5匹釣れたので今回の山行目標は達成、ここで釣は終了し、テン場に戻り焚火を熾し皆の帰りを待つことにした。

下流に下って行った田中さん、斉藤さんは刺身用の2匹を含めかなりの

釣果があったとのこと。

昼食の斉藤料理による刺身、塩焼きを堪能した後、タープ、テントを撤収し帰路に着いた。

鷹巣ノ尾根の降りて雲が切れ、眼下遙か彼方に広がった新緑の中ぽつんと見えた開善学校の赤い屋根が印象的だった。

帰りの車の中で、釣果の報告会。

5名で40匹以上、塩焼き、刺身の12、3匹を残しすべてリリース。

また来年機会があれば参加をしたい、楽しい釣山行だった。

コースタイム

5月31日

白根開善学校(8:50) - 馬止メ・鷹巣ノ尾根取付(9:20) - (10:20/35) - 1825m地点(10:55) - オッタテ峠(11:40/12:00) - 魚野川出合(13:45) - テン場(14:00)

6月1日

テン場(10:05) - (12:05/20) - オッタテ峠(13:30/50) - 1825m地点(14:05) - 白根開善学校(15:30)

地形図

野反湖、岩菅山 (1/25000)